

ボクシング 世界戦 八重樫、初防衛



【東京・鈴木徹】国際ボクシング連盟（IBF）ライトフライ級タイトルマッチは8日、東京・有明コロシアムで行われ、北上市出身の王者八重樫東（大橋）が同級11位のマルティン・テックアペトラを2-1の判定で破り、初防衛を果たした。【8、15面に連続】

ジャッジの採点は115-113、116-113で八重樫、残り1人は115-113でテックアペトラを支持した。八重樫は1回から挑戦者の長いリーチを生かした攻撃に苦しめられたが接近戦を仕掛け、ボディ

12回、テックアペトラ（左）に右のパンチを放つ八重樫東（右）8日、東京・有明コロシアム

1フロアの連打で相手のスタミナを徐々に奪った。手数落ちない挑戦者に多くパンチをもらったが、回が進むにつれて右フックが当たる場面が増えた。最終12回には両者が激しいパンチの応酬を展開し、決着は判定に持ち込まれた。

八重樫は辛勝での初防衛を反省しつつも、家族に対しては「きょうは母の日。いつも迷惑を掛けて好き勝手にやらせてもらっている妻と岩手で見守ってくれている母に感謝の気持ちを伝えたい」と話した。

これでは駄目 八重樫東（打ち合う展開に）やっぱり僕はこういう戦い方しかできない。もっと圧倒できる試合をしたい。これでは駄目だと証明されたので、次はもっといいボクシン

グをしたい。

八重樫東（やえがし・あきら）2005年3月、プロデビュー。11年10月、WBAミニマム級

王座獲得。12年6月、2団体王座統一戦でWBC同級王者の井岡一翔（井岡）に判定負け。13年4月、WBCフライ級王者

の五十嵐俊幸（帝拳）に判定勝ちして2階級制覇。15年12月、IBFライトフライ級王者のメンドサ（メキシコ）を判定

で破り3階級制覇を果たした。右ボクサーファイター。160・8センチ。33歳。北上市出身。